

説教

「棕櫚の祭り」

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2018年3月25日(日)

主 題：「ああ、エルサレム、エルサレム」
—約束、回復、希望—

テキスト：マタイの福音書23章37-39節

はじめに

- ・私は先月、エルサレムから戻ってきました。「エルサレム」は、神がこの世界で一箇所、ご自身の御名を置くために選ばれた都です。この町の名前の意味は、「神の平和」という意味です。しかし、それとは逆に、この町ほど争いが繰り返され、血が流された町はありません。
 - ・イエスは言われました。「**あなたがたは、世界の光です。山の上に**
ある町は隠れることができません。」（マタイ5・14）
エルサレムは、標高約800メートルの丘の上にあります、まさに隠れることができない町です。この町で数々の事件が起こりました。その中でも最も大きなことは、イエス・キリストの十字架の死。そして復活、昇天でした。今年の復活日は、来週の日曜日にあたります。私たちは復活日（イースター）を覚え、イースター礼拝を持ちます。死を打ち破られたイエスは、40日間多くの人々の前で姿を現されました。
 - ・そしてその後、イエスは群衆の眼前で天に昇られました。それから10日後、五旬節（ペンテコステ）を迎えました。神の御霊が信じる者たちの上に注がれました。聖霊降臨です。今年のカレンダーでは、5月22日です。そしてエルサレムに、はじめての「キリスト教会」が誕生しました。それからイエスの弟子たちは、イエスが命じられたように、神の福音を全世界へ伝えるため伝道を開始しました。それは、聖霊の力に押し出された世界宣教の始まりでした。
 - ・今やキリストの教会は、全世界どこに行っても建てられています。それはエルサレムから始まった、神のご計画であります。
3. ところで、今から約2千年前のイエス時代、エルサレムには、神を礼拝するための壮大な神殿がありました。そこでは、祭司たちやレビ人が仕えていました。神に愛され、平和の都と呼ばれたエルサレム。しかし、その現実は真反対でした。
- ・今日のテキストは、イエスが受難を受けられる直前のことです。イエスは3年にわたるガリラヤ地方での働きを終えて、エルサレムに來られました。そしてエルサレムの東側に位置するオリーブ山から、エルサレムをご覧になりました。オリーブ山を下り、ほぼ中程のところ、イエスは都エルサレムを見て、嘆かれました。それが今日のテキストです。 2点。

大切なポイント**1. 神の栄光が離れたエルサレム**

(さばかれた都)

- ・イエスは言われました。「**ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしはめんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがはそれを好まなかった。」**

- ・皆さん。神が選ばれた唯一の都エルサレムは、なぜ祝福を失うことになったのでしょうか。ここは大切なポイントであります。

1) 都崩壊の理由

- ・彼らは創造神について知っていました。しかし、もっとも大きな理由は、彼らの信仰が形骸化し、礼拝は儀式中心となってしまったことです。
イエスは、この町の特徴をアベルからザカリヤまで、神が遣わされた預言者たちを殺した町と形容しました。

「それは、義人アベルの血からこのかた、神殿と祭壇との間で殺されたバラキヤの子ザカリヤの血に至まで、地上で流されるすべての正しい血の報復があなたがたの上に来るためです。」 23:35

きびしい言葉ですが、現実でした。

- ・その結果、彼らは、生ける神との信頼関係を失いました。
選ばれ、愛された民が、なぜそのようなことになってしまったのでしょうか。

①人間はそれほど不完全であるから

イスラエルは神から離れないように、「愛の戒め」が与えられました。

しかし守ることができませんでした。彼らは神の祝福を何度も受けながら、忘れてしまいました。

- ・神は旧約聖書時代、数多くの預言者を送られました。何度も、イスラエルに注意と警告を与えました。しかし、神の言葉に不従順であったのが、イスラエルでした。そればかりか、神の前に不義を行い、血を流してしまいました。そして、
- ・血を流す行為は、今日もつづいています。神は十戒の第6戒で、「**殺してはならない。**」と命じられました（出エジプト 20:13）。しかし、彼らは戒めを破りました。
- ・じつは、そのイスラエルの姿こそ、私たちの姿であります。私たちも神の戒めを守れない人間です。人は母の胎から生まれた時から、不完全な存在であると聖書は語ります。イザヤ書

48:8 わたしは、あなたがきっと裏切ることを、母の胎内にいる時からそむく者と呼ばれていることを、知っていたからだ。

- ・イスラエルが不完全であったように、私たちも不完全な者です。

②人間はそれほど罪深い者であるから

- ・不完全である者は、罪を犯す存在です。本道から道を外してしまった存在です。元来、「罪」という言葉はハマテイア（原語の“hamatia”）です。⇒「的を外れ」という意味です。

神によって造られた者が、神という的に向かって歩み進むべきですが、的から外れてしまいました。その結果、さまざまな悪を行い、神の前で罪を犯すのです。それが罪人です。

- ・イエスの初臨は、その罪人を救うためでした。マタイの福音書

9:13 「わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」

神はあわれみをもって、この都が神のさばきから守られるように、救い主イエス・キリストを遣わしました。しかし、この町の住民はイエスを好みませんでした。イエスは次のような「たとえ話し」をされました。マタイ福音書

21:33 もう一つのたとえを聞きなさい。ひとりの、家の主人がいた。

彼はぶどう園を造って、垣を巡らし、その中に酒ぶねを掘り、やぐらを建て、それを農夫たちに貸して、旅に出かけた。

21:34 さて、収穫の 때가近づいたので、主人は自分の分を受け取ろうとして、農夫

たちのところへしもべたちを遣わした。

- 21:35 すると、農夫たちは、そのしもべたちをつかまえて、ひとりには袋だたきにし、もうひとりには殺し、もうひとりには石で打った。
- 21:36 そこでもう一度、前よりももっと多くの別のしもべたちを遣わしたが、やはり同じような扱いをした。
- 21:37 しかし、そのあと、その主人は、『私の息子なら、敬ってくれるだろう。』と言って、息子を遣わした。
- 21:38 すると、農夫たちは、その子を見て、こう話し合った。『あれはあと取りだ。さあ、あれを殺して、あれのものになるはずの財産を手に入れようではないか。』
- 21:39 そして、彼をつかまえて、ぶどう園の外に追い出して殺してしまった。

- ・彼らを救うために来たイエスが、さばきを宣告しなければならなかったことは、どれほどの痛みだったでしょう。マタイ 23 : 37
「ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしはめんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがはそれを好まなかった。」

2) 神との信頼関係を失った結果

- ・エルサレムは、イエスを拒絶したことによって、神の栄光が都から離れてしまいました。それはかつて神殿の聖所から、神の栄光が離れたようにです（エゼキエル 10 章）。彼らは再び、同じことを経験することになりました。
 - ・この町はイエスの預言どおり、AD 70 年、ローマ軍によって破壊されました。彼らの都はそれ以降、荒れ果てたまま残されたのです。しかし、神の都とご自分の民をいつまでも見捨てる方ではありません。
エゼキエル 11 章
11:17 それゆえ言え。『神である主はこう仰せられる。わたしはあなたがたを、国々の民のうちから集め、あなたがたが散らされていた国々からあなたがたを連れ戻し、イスラエルの地をあなたがたに与える。』
 - 11:18 彼らがそこに来るとき、すべての忌むべきもの、すべての忌みきらうべきものをそこから取り除こう。
 - 11:19 わたしは彼らに一つの心を与える。すなわち、わたしはあなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしは彼らのからだから石の心を取り除き、彼らに肉の心を与える。
- * これは神が預言者エゼキエルをとおし与えられた言葉でした。

2. 神の栄光が戻るエルサレム

回復する都

1) 神の約束

- ・ AD 70 年、エルサレムの都は預言どおりローマ軍によって崩壊しました。それから彼らの家は、しばらくの間、荒れ果てたまま残されました。
- ・ しかし神は、この町とご自分の民をいつまでも、見捨てるお方ではあ

りませんでした。AD 70年、エルサレムが崩壊してから、1,800年以上の間、イスラエルという国は存在しませんでした。しかし、神は預言者イザヤの口をとおし次のように預言されました。イザヤ54章

54:7 「わたしはほんのしばらくの間、あなたを見捨てたが、大きなあわれみをもって、あなたを集める。

54:8 怒りがあふれて、ほんのしばらく、わたしの顔をあなたから隠したが、永遠に変わらぬ愛をもって、あなたをあわれむ。」とあなたを贖う主は仰せられる。

54:9 「このことは、わたしにとっては、ノアの日のようだ。わたしは、ノアの洪水をもう地上に送らないと誓ったが、そのように、あなたを怒らず、あなたを責めない」とわたしは誓う。

54:10 たとい山々が移り、丘が動いても、わたしの変わらぬ愛はあなたから移らず、わたしの平和の契約は動かない。」とあなたをあわれむ主は仰せられる。

* 聖書の預言の正しさが証明されました。

2) イスラエルの回復

- ・ 離散したユダヤ人は、世界各地に第三民族として生活しました。そして今から約1000年以上前（1897年）、神は回復の手を伸ばし始められました。一人のユダヤ人（Theodor Herzl）が、勇気を持って立ち上がりました。
- ・ 彼は、「ユダヤ人がこれまで多くの差別と迫害を受けてきたのは、自分たちの安住の地がないからである。安住の地とは、神が父祖アブラハムに約束し与えた、パレスチナの地である。その中心がエルサレム、そしてさらに中心はシオンである。我々は、そこへ帰ろう！」と呼びかけました。これが「シオニズム運動」です。（ゼカリヤ8：3）
彼は世界中のユダヤ人に、シオニズム運動の啓蒙を呼びかけました。
- ・ それから第二次世界大戦が始まり、ナチスによるユダヤ人大虐殺が起きました。600万人以上のユダヤ人たちが、ガス室などに送られて殺害されました。恐らく人類史上最悪の悲劇が生まれました。結局、これを引き金としてシオニズム運動は加速し、1948年国連承認のもとでイスラエル国家が建国されました。
- ・ イスラエル建国初代首相は、デービッド・ベン・グリオン（David Ben Gurion）でした。ネゲブの地にあるキブツに入植し住んで家は、豪邸ではなく質素な家でした。私は彼の住居を訪ねたとき、机の上に彼の愛読書であった一冊の聖書が置かれていたのを覚えています。
- ・ 皆さん。神は語られたみ言葉を、確かに成就される方です。私たちは今回、聖地旅行をとおし、神の多くの「しるし」を確認することができました。神は更に不思議な預言を、エゼキエルとおして語られました。

エゼキエル47章

47:9 この川が流れて行く所はどこでも、そこに群がるあらゆる生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる。この水がはいると、その水が良くなるからである。この川がはいる所では、すべてのものが生きる。

47:10 漁師たちはそのほとりに住みつき、エン・ゲディからエン・エグライムまで網を引く場所となる。その魚は大海の魚のように種類も数も非常に多くなる。

47:11 しかし、その沢と沼とはその水が良くならないで、塩のままで残る。

47:12 川のほとり、その両岸には、あらゆる果樹が生長し、その葉も枯れず、実も絶

えることがなく、毎月、新しい実をつける。その水が聖所から流れ出ているからである。その実は食物となり、その葉は薬となる。

*私は生ける神の前で、身が震えるほどの感動を覚えました。
(写真提供)

3) イスラエルの希望

再臨のイエス・キリストが来られる。 マタイ 23 : 39

23 : 39 「あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。

- ・ 私たちは、聖書預言の権威をみることができます。
イスラエル建国前、神への信仰をもった人々は、この預言を前において受けとめ信じました。現在の私たちは、この預言を後方において見えています（成就）。いかがでしょうか？ どちらが信じやすいことでしょうか。神がこれほどの奇跡を行っても、信じる人と信じない人がいます。
- ・ 皆さん。信仰とは見たから信じるというものではありません。神がお語りくださったから、信じられるのです。復活されたイエスは、トマスに言われました。
ヨハネの福音書 20章
20:29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」
- ・ これから、私たちは受難週にはいります。イエスが苦しみの道を歩まれた、最後の1週間です。イエスはなぜ、そのような道を歩まれたのでしょうか。 ⇒ 不完全で罪人の私を、救うためです。
イエスはエルサレムの都を見て、嘆かれました。
マタイ 23 : 37
「ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしはめんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。」

私たちはこのイエスを、今週心静かに覚えたいと願います。

まとめ

主 題：「ああ、エルサレム、エルサレム」

- ・ 受難週に入る今日、イエスはエルサレムの都を前に嘆かれました。
その場所は今、「主の嘆きたもう教会」、あるいは「主涙流したもう教会」と呼ばれています。今日は2点、学びました。

1. 神の栄光が離れたエルサレム
2. 神の栄光が戻るエルサレム
 - ・ イスラエルの回復は、1948年歴史的に成就しました。今後、イスラエルの霊的回復が起ころうとしています。そして、

- ・イスラエルには希望が与えられています。それは
⇒再臨されるイエス・キリストを迎えるという希望です。

・God bless you !